



津山市 城東重要伝統的建造物群保存地区 ©Tsuayama city

Governor's Monthly Communication

ガバナー月信

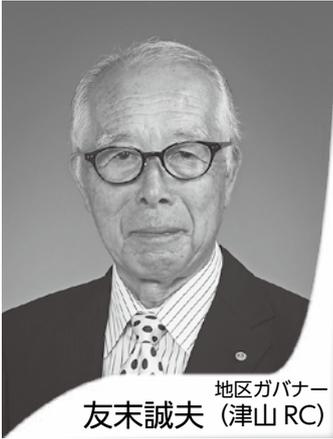
地区ガバナーメッセージ	2
石倉貞昭ガバナーエレクト国際協議会ご出席壮行会	3
ロータリー財団グローバル補助金奨学金 報告書	4-5
クラブ報告	6-7
出席報告	8

Rotary International District 2690 2022-23

2022-23年度
国際ロータリー会長
ジェニファー・ジョーンズ

国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)
2022-23年度地区ガバナー
友末 誠夫

Vol.8



地区ガバナー
友末誠夫 (津山 RC)

平和構築と紛争予防月間によせて

地球上に暮らすあらゆる民族は、宗教、言語、生活様式の異なる固有の文化を築いた歴史を有します。しかし、異文化故に対立感情が強まると紛争が誘発、その様な人類の歴史を私達は背負っているのです。

人は物事に対する考え方や見方が、育った環境や学校教育そして職種等、個々の生活環境の違いによって様々相違します。従って、意見の対立に同一見解をもって集団化すると、それに反対意見の集団とが激しく対立して紛争を招くことは必然です。

仮にその集団を取りまとめる先導者の舵取りに妄想現象が生じると、相互の集団はいつしか大きな紛争を巻き起こす方向へと進む可能性が濃くなるのです。ただ、この様な状況でもその舵取りを担う先導者や先導者を補佐する仲間に“人間愛の心”を持つものがいれば、紛争への発展に制動が働く可能性が高まり大きな軋轢に至らないで済ませることが出来るのです。

人間愛即ち平和に拘る意識を多感な少年期に教わると、それは個性の一角に留まって平和への感性を育み、人生を支えてくれるのです。平和の構築は生活社会の場に於いても、ロータリークラブの様な世界的規模の組織で平和を尊重するあらゆる社会組織や学校教育の場に於いても、“人間愛の心”の基礎造りが極めて重要です。大人になって急遽、「人間愛に取り組みましょう！平和の素晴らしさを認識しましょう！」の掛け声だけでは人間愛の素養は身に付かないのです。固定概念も基礎も無い状態のままでの平和構築は有名無実なものになる可能性もあるのです。

私は化学技術研究者である父と、採卵養鶏事業を開始した母を見て育ちました。私が平和感に包まれるのは 夢中になって構造物を創作する時や不便な部分を解消する時、そして痛んだ場所を修理する時で、周りの景色も時間の経過も全く気にすることなく一心不乱に夢中になってしまうのが生まれ付いた独自の習性だと両親に感謝しているのです。

手作業で一つ一つ卵をきれいにしていた祖母のため、卵の汚れを除去する構造原理模型を手作りし発明した装置は商業生産機として全国の鶏卵生産業界で使用され、簡便で品質重視の生活社会を支える陰の立役者として時代を先駆する存在になりました。私の発明が人々の日常の食分野の衛生品質規格を先駆する役割を担ったことは、私にとって人間愛が培われた様な爽やかな気持ちになったことを思い出すのです。

「ロータリーの奉仕活動は人間愛の行動を人々に与え、それを共有することで平和が築かれる。その連鎖こそがロータリー活動だ！」と、同じロータリークラブ会員であった教会の神父の言葉を覚えています。人間愛の尊さは、私の人生の一角に組み入れられ、不十分な私の人格性を補ってくれているのです。

人間愛は感性として個性に生き続けるので、ロータリーの会員として月日の経過と共に自然に身に付くことは出来ても、大人になって急に教えられたからと云って、感性として身に付くとは限らないのです。幼少期や少年期の子ども達に“人の優しさ＝人間愛”の尊さを親として生活の中で、自然体で教えることでいつしか子ども達の感性の中に宿るのです。

ロータリーの平和の重要性は、ロータリークラブ会員が日頃の生活の中で”人間愛そして平和の重要性“を実践し、次の世代の平和の重要性の意識拡大を図ることであると考えます。



2023-24 年度地区代表幹事長
幡 宏明 (松江しんじ湖 RC)

石倉貞昭ガバナーエレクト国際協議会ご出席壮行会

令和4年12月10日(土)に松江市千鳥町ホテル一畑(平安の間)にて、石倉貞昭ガバナーエレクト国際協議会出席壮行会並びに懇親会が開催されました。

当日は午後からロータリー財団委員長研修会並びに地区補助金管理セミナーが開催され、地区内65クラブから次年度会長、幹事、財団委員長の皆さん208名の参加を頂きました。その後次年度ガバナー補佐会、諮問委員会が開催され、午後6時より石倉貞昭ガバナーエレクト国際協議会出席壮行会並びに懇親会が開催されました。

壮行会は国際ロータリー第2690地区ガバナー友末誠夫様並びに松江しんじ湖ロータリークラブ大内茂会長主催により開催されました。

国際ロータリー理事佐藤芳郎様ご夫妻、直前ガバナー岩崎陽一様ご夫妻、パストガバナー鳥居滋様ご夫妻、伊藤文利様、森本信一様ご夫妻、松本祐二様、庄司尚文様ご夫妻、末長範彦様、古瀬俱之様ご夫妻、菊池捷男様ご夫妻、地区ガバナーノミニー榊原敬様、地区ガバナーノミニーデジグネート坂口元昭様ご夫妻、2024-25年度地区代表幹事西川智晴様他多くのご来賓のご臨席を賜りました。



また、現・次期ガバナー補佐、第2・3・4・5グループクラブ会長、次期クラブ会長、現・次期クラブ幹事、ホストクラブの松江しんじ湖 RC 会員にも出席して頂き盛大に執り行う事が出来ました。

河本秀生代表幹事の司会で始まった壮行会は、友末地区ガバナーによる壮行の言葉の後、友末ガバナー並びに松江しんじ湖 RC からそれぞれ饞別が送られました。



花束贈呈では友末ガバナー令夫人様より石倉貞昭ガバナーエレクトに贈呈されました後、佐藤芳郎国際ロータリー理事より激励と心温まる祝辞を頂戴致しました。

御礼の言葉で石倉ガバナーエレクトは、3年振りに米国フロリダ州オーランドで開催されます国際協議会に出席への決意と抱負を述べられました。



祝宴に移り、声楽家の森田麗子様オープニングで始まり、ホストクラブの大内茂会長に続き古瀬俱之パストガバナー様のご発声の乾杯で祝宴が始まりました。

再度、声楽家の森田麗様に登場頂き、2度のアンコールに応じて頂き、和やかな雰囲気懇親を深める事が出来ました。松本祐二パストガバナーより閉宴の言葉があり、ソングリーダー高濱範子会員によるロータリーソング「手に手つないで」をコロナ感染に配慮しながら歌って閉宴となりました。

ご出席頂きました皆様に感謝申し上げ、石倉貞昭ガバナーエレクトが有意義な研修をされ、第2690地区に反映されますことを祈念致しまして、壮行会の報告とさせていただきます。





地区グローバル補助金奨学生
今津千尋

2022-23年度 ロータリー財団グローバル補助金奨学金 報告書

1. 学業面での成果

9月末から開始した秋学期では、必修科目である「Conflict, Security and Development」と「New Security Challenges」の2科目を履修し、「紛争と開発」という国際課題の歴史的発展や、近代理論について学び、現在国連や先進国を中心に主導されている介入や開発のあり方について議論をしました。授業は主に、レクチャー形式とワークショップ形式に分かれていて、レクチャーでは講義を、ワークショップではグループディスカッションなどを通じて、学びを深めていきます。サセックス大学の開発学は、その特徴として「現在の主流の理論や実践に対する、批判的姿勢」をとっていることが挙げられるかと思えます。これまで紛争後社会の開発といえば、主に国連やNGOなどの国際機関の支援や、欧米諸国などの直接投資により、民主化や経済自由化などにより、一国をいわば「自由民主主義国家」に立て直すことがその成功とされてきました。しかしながら、近年はそのようなシステム構築が、介入される側の現地社会の伝統的・文化的・民族的背景を軽視し、介入の失敗を生むケースが指摘されてきました。サセックス大学は特に、これまでの伝統的開発のあり方に疑問を呈し、新しい開発のあり方を幅広い研究を通して展開している、非常に先進的な学術機関であると実感しています。授業内では、特に理論を理解するだけでなく、自分はその理論に対してどのような立場をとるか、どう解釈を与えるのか、といった非常に難しい質問を突きつけられます。それは、大学が学生に対し、ただ「学ぶ」のではなく「分析し、発展させる」姿勢を強く求めているからです。



また、サセックス大学には、国際機関と関わる様々な機会があり、11月には学科のフィールドワークの一環で、ジュネーブ研修に参加しました。ジュネーブでは、国際労働機関（ILO）や世界保健機関（WHO）、国際赤十字社、その他国際NGOなどの事務所に訪問し、職員の方々と対話する機会を得られました。各機関の具体的活動や政策、実際に本部で勤務されている方の経験などを聞くことで、自分自身のモチベーションも向上し、とても有意義な時間になりました。



同じコースに所属する学生は、世界各国から来た、多様なバックグラウンドを持つ留学生が多く、自分と同じように、紛争地域の平和的開発に献身を志しています。授業内での意見交換や、授業外での交流を通じ、常に新しい価値観や考え方に出会うことで、自分が持つ「ものの捉え方」を客観的に理解することができています。そんな同志に出会えたことは、これからの自分のキャリアにも大きく影響を与えていると感じています。

◀ 11月：ジュネーブ研修の時の様子

2. 受入地区でのロータリーとの関わり、奉仕活動、カウンセラーとの交流 ……………



▲ 10月：シーフォードロータリークラブの皆さんと。
右端メガネの女性がアンさん

私は現地で、シーフォードロータリークラブにお世話になっていました。シーフォードの皆さんは、非常に明るく温厚な方で、サセックスの学生もこれまで何名か受け入れをしていたと伺っています。シーフォード地区は、海に面した非常に落ち着いた地域で、私が住む Brighton から電車で 30 分ほどのところにあります。当クラブの定例会は授業日程と被っており、参加できませんでしたが、月に一度ほど担当のアンさんのお家に伺い、クラブの皆さんとお話ししたり、音楽を楽しんだりしています。

また、10月下旬にシーフォードで開催された、Bonfire Society というお祭りでは、ロータリアンの皆さんに混じって、交通整備に参加させていただきました。Bonfire Society とは各地区が各々のテーマのコスチュームを身に纏い行進をするシーフォード地区の一大イベントで、当日は奉仕活動で忙しかったものの、終了後はロータリアンの皆さんとお祭りの大トリである巨大な焚き火を見にいことができました。現地の皆さんのおかげで、イギリスの文化や伝統を楽しむことができます。

またこちらに来てすぐに、オンラインでロータリー財団イギリス支部での全体オリエンテーションがあり、その際には他の奨学生の皆さんや、ロータリアンの方々と自己紹介や談話をすることができました。その後サセックス大学のロータリー奨学生の皆さんとも知り合うことができ、授業外に出かけたりして交流を楽しんでいます。

3. 直面した課題、問題点等 ……………

大学院の授業は、主に議論による発展をベースとしているため、予習・復習ともに非常に多くの時間を要します。特に、予習では複数文献のリーディングや、授業前に提出する課題などもあり、勉強におけるプレッシャーは大きく感じています。最近では、スケジュールをきちんと組んで、学習やその他の時間を習慣化することに徐々に慣れてきましたが、当初はうまくいかず、頻繁に体調を崩してしまいました。1月に開始する春学期では、修士論文執筆のための準備も開始するので、より多忙になることが予想されます。きちんと規律した生活を送れるよう心がけていきます。

4. 今後の課題、目標 ……………

春学期は、選択科目に加えて修士論文執筆のための準備を開始します。ここでは今季に比べてさらに実践的内容を取り扱うことが増える予定で、質的・量的研究の手法を学びながら、実際に統計データなどを利用しての分析や研究に挑戦します。また、修士論文のテーマはまだ確定はしていませんが、「紛争地域における教育の安全保障」という分野について研究したいと考えており、修士論文執筆に際し、国際機関や国際 NGO などでのインターンを希望しているのでその実現に向けて努力していきたいです。

2022年 12月 地区だより

新会員
紹介



本内 俊彦 倉吉RC 今川由紀子 米子RC 白水 照之 松江RC 高橋 敦 出雲中央RC 吾郷 慈子 出雲南RC 土崎 一雄 江津RC 林 秀司 浜田RC 田原 毅 益田西RC 村上 欣也 岡山南RC

ロータリー財団への寄付

ポール・ハリス・ソサエティ入会



三宅 俊弘
倉敷東RC

メジャードナーレベル4



末長 範彦
岡山RC

メジャードナーレベル1



佐藤 淳
倉敷RC

大口寄付(恒久基金)



末長 範彦
岡山RC

ベネファクター(恒久基金)



塩野裕士
出雲南RC

ポール・ハリス・フェロー(ポリオプラスへの寄付)



大森 一生
高梁RC



佐藤 理
倉敷RC



椿原 彰夫
倉敷RC



平木 章夫
倉敷RC



赤木 幸也
倉敷東RC



遠藤 堯之
倉敷東RC



佐々木孝之
倉敷東RC



米田 昌道
真庭RC

ポール・ハリス・フェロー(年次基金への寄付)



竹田 秀紀
倉吉東RC



河崎 一寿
倉吉東RC



福山 育録
倉吉東RC



山下 卓治
鳥取西RC



坂口 吉平
米子RC



赤山 俊寛
米子東RC



古志 勝俊
松江南RC



山口 章
松江南RC



劉 麗茹
松江南RC



浅津 和人
出雲南RC



樋野圭衣子
出雲南RC



石飛 真
出雲南RC



小玉 浩
出雲南RC



榎野 安浩
出雲南RC



森山 育子
出雲南RC



持田 隆治
出雲南RC



小川 哲治
出雲南RC



打田 理成
出雲南RC



米原 彰男
出雲南RC



松尾 明
浜田RC



小松原和也
浜田RC



牧野 真樹
笠岡東RC



鈴木 香
新見RC



柴田 卓志
新見RC



蘆田 正憲
総社RC



上野 英子
総社RC



浅野 泰司
倉敷RC



伊木 勝道
倉敷RC



岡 裕二郎
倉敷RC



佐藤 淳
倉敷RC



中村 公彦
倉敷RC



橋本 真治
倉敷RC



平木 章夫
倉敷RC



平松 晃弘
倉敷RC



星島和一郎
倉敷RC



堀 裕文
倉敷RC



三牧 博史
倉敷RC



森 正博
倉敷RC



道明 道弘
倉敷中央RC



三宅 俊弘 倉敷東RC 小野 久 倉敷東RC 廣岡 順 真庭RC 番原よし浩 津山西RC 小椋 章光 津山西RC 木原 宏 岡山RC 小林 和義 岡山西南RC 楠本 俊憲 岡山西南RC

クラブポリオプラス

米子 東RC	2,431.45ドル
松江 南RC	347.83ドル
倉敷水島RC	369.00ドル
岡山旭川RC	179.31ドル (ミリオンダラーミール)

クラブ年次基金

鳥取RC	495.65ドル (ミリオンダラーミール)
松江 南RC	340.58ドル (ミリオンダラーミール)
出雲中央RC	11.00ドル (新会員寄付)
出雲 南RC	22.00ドル (新会員寄付)
倉敷RC	391.30ドル (ポリオデー寄付)
倉敷 東RC	1,316.23ドル (年次基金)
真庭RC	543.00ドル (ミリオンダラーミール)

メモリアル・コントリビューター

児島RC 渡辺 英臣 父 渡辺好政のために

法人寄付 (年次基金)

倉敷RC	野村證券(株)倉敷支店	松江南RC	明治安田生命保険(相)松江支社
松江南RC	第一生命保険(株)島根支社	松江南RC	東京海上日動火災保険(株)山陰支店
松江南RC	JR西日本山陰開発(株)	松江南RC	三井住友海上火災保険(株)山陰支店
松江南RC	あいおいニッセイ同和損害保険(株)島根支店	松江南RC	損害保険ジャパン(株)山陰支店
松江南RC	西日本電信電話(株)島根支店	松江南RC	山陰中央テレビジョン放送(株)
松江南RC	(株)松江エクセルホテル東急		

米山記念奨学会への寄付

米山功労者



坂口 吉平 米子RC 杉原弘一郎 米子東RC 石部 裕一 米子東RC 新宮 瑞夫 松江南RC 原田 慎一 松江南RC 和久本 光 松江南RC 鶴田 英也 浜田RC 吉田 稔 浜田RC 近重 勉 浜田RC 別府 洋吾 総社RC



大森 一生 高梁RC 中村 浩己 高梁RC 橋本 真治 倉敷RC 山本 裕二 美作RC 井上 貴之 美作RC

クラブ特別寄付

松江南RC	48,000円 (米山ランチ)
玉野RC	52,650円 (米山ランチ)
笠岡RC	25,344円 (米山ランチ)
出雲南RC	5,000円 (新会員寄付)
出雲南RC	29,415円 (米山BOX)

米山法人特別寄付

松江南RC	第一生命保険(株)島根支社
松江南RC	JR西日本山陰開発(株)
松江南RC	西日本電信電話(株)島根支店
松江南RC	(株)松江エクセルホテル東急
松江南RC	明治安田生命保険(相)松江支社
松江南RC	東京海上日動火災保険(株)山陰支店
松江南RC	三井住友海上火災保険(株)山陰支店
松江南RC	損害保険ジャパン(株)山陰支店
松江南RC	山陰中央テレビジョン放送(株)

訃報

山根 勝
鳥取中央RC
ご逝去日/2022年12月25日
享年/74歳
入会日/1994年11月14日

福島 邦光
松江南RC
ご逝去日/2022年12月6日
享年/93歳
入会日/1960年10月24日

山本 幹雄
出雲中央RC
ご逝去日/2022年12月2日
享年/97歳
入会日/1992年3月23日

井上 善弘
岡山西南RC
ご逝去日/2022年12月3日
享年/72歳
入会日/1997年3月3日

謹んで哀悼の意を表し
ご冥福をお祈りします

出席報告 (2022年12月)

クラブ名	ホームクラブ 出席率 (%)	例会 数	会員数				
			7月1日	12月 末日	内女性 会員	増減	
第一グループ	智 頭	75.00%	4	5	5	0	0
	倉 吉	82.05%	3	40	40	1	0
	倉吉中央	66.67%	3	18	17	2	▲1
	倉吉東	89.77%	4	47	46	5	▲1
	鳥 取	83.26%	4	57	60	3	3
	鳥取中央	72.58%	2	32	30	2	▲2
	鳥取北	70.79%	2	47	48	6	1
	鳥取西	71.43%	4	56	56	2	0
小計(8)	—	—	302	302	21	0	
第二グループ	境 港	70.59%	3	43	42	1	▲1
	米 子	57.78%	2	67	69	5	2
	米子中央	76.42%	3	40	42	1	2
	米子東	59.24%	2	105	108	12	3
	米子南	69.32%	3	70	70	5	0
	小計(5)	—	—	325	331	24	6
第三グループ	松 江	79.76%	3	63	65	1	2
	衛星クラブ	55.00%	2	10	10	5	0
	松江東	75.00%	3	46	45	4	▲1
	松江南	72.16%	3	63	65	6	2
	松江しんじ湖	73.33%	2	44	49	11	5
	隠岐西郷	75.00%	4	21	24	2	3
小計(5)	—	—	247	258	29	11	
第四グループ	平 田	83.21%	4	34	35	2	1
	出 雲	75.00%	3	49	48	1	▲1
	出雲中央	78.57%	3	46	48	3	2
	出雲南	66.34%	4	78	83	7	5
	大 社	68.25%	3	50	50	4	0
	小計(5)	—	—	257	264	17	7
第五グループ	江 津	68.42%	3	37	40	2	3
	浜 田	72.41%	3	53	58	3	5
	益 田	57.89%	3	18	19	1	1
	益田西	68.60%	3	29	29	1	0
	大 田	74.36%	3	25	26	3	1
	小計(5)	—	—	162	172	10	10
第六グループ	井 原	68.63%	3	42	40	2	▲2
	笠 岡	87.91%	4	46	48	4	2
	笠岡東	88.16%	4	40	40	0	0
	新 見	80.30%	3	21	23	3	2
	総 社	55.00%	3	16	15	2	▲1
	総社吉備路	80.25%	3	25	26	2	1
	高 梁	87.39%	3	36	37	1	1
	玉 島	88.73%	3	29	28	4	▲1
小計(8)	—	—	255	257	18	2	

クラブ名	ホームクラブ 出席率 (%)	例会 数	会員数				
			7月1日	12月 末日	内女性 会員	増減	
第七グループ	児 島	68.42%	2	21	20	0	▲1
	児島東	93.75%	3	11	11	0	0
	倉 敷	89.63%	4	73	75	1	2
	倉敷中央	82.05%	3	15	16	5	1
	倉敷東	84.55%	4	32	34	3	2
	倉敷南	67.90%	3	58	63	3	5
	倉敷水島	83.87%	2	20	19	0	▲1
	倉敷瀬戸内	69.37%	3	38	38	1	0
小計(8)	—	—	268	276	13	8	
第八グループ	真 庭	78.89%	3	31	30	1	▲1
	美 作	86.11%	3	26	25	2	▲1
	津 山	64.49%	4	100	99	5	▲1
	津山中央	89.13%	4	13	12	3	▲1
	津山西	72.45%	3	35	34	4	▲1
	小計(5)	—	—	205	200	15	▲5
第九グループ	備 前	66.67%	3	41	43	5	2
	岡 山	77.11%	3	114	119	5	5
	岡山東	87.95%	4	94	95	0	1
	岡山北西	72.62%	4	40	42	2	2
	岡山後楽園	73.89%	4	51	51	0	0
	小計(5)	—	—	340	350	12	10
第十グループ	岡山旭川	60.75%	3	34	36	1	2
	岡山中央	70.13%	3	26	25	5	▲1
	岡山北	66.00%	3	50	49	4	▲1
	岡山南	67.10%	3	160	158	20	▲2
	玉 野	63.89%	4	26	26	0	0
	小計(5)	—	—	296	294	30	▲2
第十一グループ	岡山備南	82.00%	3	21	21	1	0
	岡山城	83.05%	3	20	21	0	1
	岡山岡南	72.73%	3	19	23	2	4
	岡山丸の内	69.08%	3	48	51	3	3
	岡山西	68.11%	4	68	66	7	▲2
	岡山西南	79.29%	4	50	50	7	0
小計(6)	—	—	226	232	20	6	

地区クラブ内の状況

クラブ数	65 RC
2022年7月1日会員数	2883名
2022年11月末日会員数	2936名
内 女性会員数	209名
純増	53名
2022年11月出席率(ホームクラブ)	74.54%

